

健康と光線

抗加齢に光線浴

私事で恐縮ですが、私は昭和十年生まれですから、数えて七十四歳になります。還暦はどうに過ぎましたが、もう一回り後の十二年後といわず、生きている限り百寿を迎えるまで、五体満足でボケないでいたいと思っています。本紙をご購読いただいているサナモア愛用者の中に、私と同世代の人は沢山いらっしゃいますが、ぼちぼち加齢に伴う身体機能の低下、知的学習能力、記憶力、集中力の衰えを自覚させられますから、大なり小なり同じような思いを抱くのではないか。加齢は何人も受け入れざるを得ないのですが、加齢現象の進行は極めて不均一で高い個人差があります。そのため加齢に伴

う衰えに拮抗する抗加齢対策として、さまざまな提言がなされていますが、光線浴を見落とすと

いたり画策点睛を欠くと考えています。光線浴を日々の習慣にすれば、

加齢で低下する機能が活発に働くようになるだけではなく、加齢を促す病気を予防する効果もありますから、抗加

齢効果が期待できるからです。

サナモアで健康・長寿

— 避けなければならない光線不足 —

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

の十二年後といわず、生きている限り百寿を迎えるまで、五体満足でボケないでいたいと思っています。本紙をご購読いただいているサナモア愛用者の中に、

私と同世代の人は沢山いらっしゃいますが、ぼちぼち加齢に伴う身体機能の低下、知的学習能力、記憶力、集中力の衰えを自覚させられますから、大なり小なり同じような思いを抱くのではないか。加齢は何人も受け入れざるを得ないのですが、加齢現象の進行は極めて不均一で高い個人差があります。そのため加齢に伴

う衰えに拮抗する抗加齢対策として、さまざまな提言がなされていますが、光線浴を見落とすと

いたり画策点睛を欠くと考えています。光線浴を日々の習慣にすれば、

加齢で低下する機能が活発に働くようになるだけではなく、加齢を促す病気を予防する効果もありますから、抗加

齢効果が期待できるからです。

加齢現象は機能の低下

素材が不足するのではなく、それを利用して生成する機能が衰えるからです。シワの予防に役立つとされているコラーゲンで

素材が不足するのではなく、それを利用して生成する機能が衰えるからです。シワの予防に役立つとされているコラーゲンで

素材が不足するのではなく、それを利用して生成する機能が衰えるからです。シワの予防に役立つとされているコラーゲンで

素材が不足するのではなく、それを利用して生成する機能が衰えるからです。シワの予防に役立つとされているコラーゲンで

素材が不足するのではなく、それを利用して生成する機能が衰えるからです。シワの予防に役立つとされているコラーゲンで

いでしょうか。

加齢は何人も受け入れざるを得ないのですが、加齢現象の進行は極めて不均一で高い個人差があります。そのため加齢に伴

安全管理に努めて下さい

平成二十年 元旦

迎春

(四面を参照して下さる。)

株 東京光線療法研究所
サナモア光線治療院
(五日より営業します)

平成17年4月1日に施行された改正薬事法では、医療機器の製造販売業に従事する業者に対

い頃と比べて、加齢でコラーゲンを生成する繊維芽細胞と呼ばれる細胞の機能が低下するため不足するのです。光線は繊維芽細胞の低下した機能を高めるように働きます。

ところで光線不足が病気の原因になることはクル病で発見されましたが、光線はすべてといつても過言でないほどさまざまな機能の働きを支配しています。そのため光線不足はさまざま

な病気の危険因子になりますが、加齢現象を促す影響は強く出ます。すなわち

なお高齢者は肢体不自由になりますが、加齢現象を促す影響は強く出ます。すなわち

これが少なからず、また知的機能や精神機能の低下がある場合も少なくないため、ご家族が十分に監視して治療をするよう

にして下さい。

顧うなり、機能の低下を招く光線不足は絶対に避けなければなりません。

ながく、機能の低下を招く光線不足は絶対に避けなければなりません。

ながく、機能の低下を招く光線不足は絶対に避けなければなりません。

一病 息災

一病 息災

坐骨神経痛

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

坐骨神経痛は、中年以降の世代の方にとつてはごく身近な病気で、腰部、臀部、大腿部から足にかけ、坐骨神経の走行に沿って、激しい痛みを呈することが特徴で、様々な原因により引き起こされますが、原因のほとんどを占める腰部脊柱管狭窄症が、坐骨神経痛と同義的に扱われることもあります。

脊柱は、24個の椎骨(頸椎7、

胸椎12、腰椎5)から構成され、その下の仙骨、尾骨へとつながります。この椎骨という管状のブロックが積み重なって形成される脊柱には、脊柱管といふ脊髓神経が通る空間が形成されますが、この脊柱管という円柱状のスペースが、何らかの原因によって狭くなり、脊髓神経を圧迫することによって腰部脊柱管狭窄症は起きます。

この際、症状は、神経が障害されたことによって起こります。

症 例：73歳、女性。

主 訴：腰痛。歩行時に右臀部から下腿部にかけて痛みとしびれ。

起始・経過：以前から腰痛を自覚していたが、最近、歩行時に下肢の痛みも認めるようになっていた。近医では、変形性脊椎症と診断されて、投薬を受けていたが、病状の改善が思わしくないため当院を受診。

治 療：側臥位にて45分、5灯照射。

腹部(BD)、腰部(BD)、臀部～大腿背部(BD)、膝(AB)、足裏(AB)。

経 過：治療を開始してから、数回で腰痛は軽くなる。10回の治療が終了した頃から、下肢の痛みとしびれが軽くなってきたため、自宅での光線治療も併用開始。現在(治療30回終了)では、日常生活を支障なくおくれるまでに改善。

が、以下のような様々な症状を呈します。

腰痛・半数以上に認め、動いた時に症状は強くなり、安静で痛みが軽減する傾向にあります。下肢痛・腰痛に次いで多く、痛みの範囲は、脊柱管の狭窄具合により微妙に異なりますが、痛みよりもしびれの方が強い場合もあります。

下肢のしびれ感、知覚異常…しびれの他に、冷感、灼熱感、ひきつれ感、しみつけ感など様々な知覚異常があります。

下肢の脱力感・筋力の低下を感じると、かかとが持ち上がりな、階段などでつまずく、スリップが脱げ易いなどの症状が表れます。

尿失禁、便失禁…重症例において認められることがあります。

また坐骨神経痛と似た症状を呈するため、しばしば、鑑別が必要となる疾患に閉塞性動脈硬化症(ASO)という病気があります。この病気は、動脈硬化が原因で、腹部大動脈以下の下肢の動脈が狭窄や閉塞することに

よって起こり、足の冷感やしびれ感を生じます。徐々に進行し、間欠性は行や疼痛、最悪の場合には足の指の壊死をきたすことがありますので注意が必要です。

病気と光線療法

サナモア光線療法の神経痛を緩和する効果については、今さら言うまでもありませんが、超高齢社会を迎える、このような症状でお悩みの方は確実に増えています。神経を障害する原因のほとんどは、加齢からくる骨を含めた組織の退行変性ですが、年齢的要因で生じた変化が、サナモアで元通りになることはありません。ただ、紫外線の効果により、骨は再構築を促され、赤外線の消炎鎮痛作用で痛みが緩和されることは、紛れもない事実です。

サナモアを日頃から照射することによって、退行変性の予防にも役立ち、抗加齢効果を期待できますので、是非、痛む前からの使用をお勧め致します。

第十三期
サナモア光線治療師
養成講座のお知らせ
明けましておめでとうございます。サナモア光線治療院も、皆様のお蔭をもちまして、八年の正月を迎えることができました。本年も前年同様、サナモア光線協会の中心的な事業であるサナモア光線治療師養成講座を、七月に開講する予定であります。

このコーナーでは、光線治療院を開業され御活躍中の先生方や、光線治療師の資格を取得された方を紹介します。

治療院 & 治療師紹介

場所..サナモア光線治療院
三階会議室

日時..一月二十六日(土)
午後二時三〇分

医療に関連した話題の講演や
治験例の報告を中心とした研究
会を開催していますので、一般
のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

サナモア便り

vol.32 宇都宮 正範



ます。光線治療院の開業をご検討されている方やサナモア光線治療法について勉強したいとお考えの方は、サナモア光線治療院(03-5759-3710)までご連絡下さい。なお、日程等の詳細につきましては、次号に掲載させて頂きます。

第二十七回 「光と熱研究会」 のお知らせ

◇光線とともに◇
小暮 澄江 治療師(十一期)



電話..〇四五一九五一三四七六
住所..横浜市旭区
都岡町三十一八

一言..約二十年前に腰痛を患つた際、主人の出張先の新潟で、

仕事関係のお客様から勧められ、初めてサナモアに出会いました。

腰と左臀部の痛みに始まり、徐々に足の先にまで痛みとしびれが走り、ひどい時には、家から一キロも歩かないうちに、冷や汗をかき下肢に痛みを生じるような状態でした。新潟の中村先生に、一か月半治療して頂いた後、主人の転勤で神奈川に戻ることとなつたため、横浜の青木先生(故人)を紹介され、そこで治療を継続しました。五回目の治療

が終わった頃、腰痛が軽くなり、前方に曲がった腰を起こすことできました。ここに約半年通い、完治しましたが、サナモアに辿り着く前は、整形外科を転々としておりました。温めたり、引張ったりしたことによって、痛みがかえって悪化したり、鎮痛薬だけを処方された医院もありました。とにかく、この頃は常に腰が痛い状態が続いている、不安がつらかったことを鮮明に覚えています。サナモアに出会えたことを本当に感謝しております。当時は子供が小さかったため、

すぐに仕事を始めることはできませんでしたが、自分自身の体験を通して、いつか同じような苦しみで悩んでいる方のために光線治療の仕事をしたいと考えていたため、昨年の夏に治療師としてスタートしました。まだまだ治療経験は浅いのですが、知人を中心として、光線治療の良さを実感して頂いております。またサナモアは、家族の健康保険にも欠かせません。現在は、二台のサナモアハ号器を使い、自宅で治療していますが、治療器を車に積んで出張治療も行い頑張っています。

◆募集◆ サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11
TEL (03) 5759-3710
FAX (03) 5759-3720

日本療術学会から
第19回

青森県古牧グランドホテル
平成19年10月21日～22日

シンポジウム

「高齢化時代と療術」



財団法人全国療術研究財団
常務理事 宇都宮光明

高齢化時代
と光線療法

わが国は世界に例を見ない速
さで高齢化時代に入りました。そ
のため高齢者が加齢に伴う身体・
精神機能の低下を防いで良好な
社会生活を営む健康状態を維持
するアンチエイジング(抗加齢、
抗老化)の情報が巷に満ち溢れ
ている。

光線医学の立場のアンチエイ

ジングは、健康長寿に日光の恵
みが欠かせないことを認識する
ことと考えている。日光の恵み
で知られているのは、必須栄養
素のビタミンDを生成すること
であるが、紫外線で日焼けする
のと同意である。医聖ヒポクラ
テスを始め数多の先達が日光療
法に健康を増進し、自然治癒力
を向上させる作用があると書き
残しているが、サンモア光線療
法はこの日光療法の流れから生
まれた治療法である。

紫外線の必要性

紫外線を如何に必要としているか、環境の紫外線量に適応し
て肌色が進化したことから明ら
かである。アフリカに誕生した
人類が、数百万年をかけて肌色
を変えたのは、紫外線の恵みを
受けるためである。日焼けは紫
外線がメラニン形成細胞を刺激
してメラニン色素を産生するた
めであるが、メラニン形成細胞
の密度に肌色の違いによる差は

ない。寒帯に住む白人は少ない
紫外線でビタミンDを生成する
ため日焼けしない。温帯に住む
黄色人種はビタミンDを生成し
ながら過剰な紫外線から肌を守
るために日焼けする。熱帯に住む
黒人は強烈な紫外線から肌を守
るために黒いが、黒くてもビタミ
ンDの生成に支障がない。

なお紫外線のビタミンD生成
能は70代で20代の半分になるた
め、容易にビタミンDは欠乏す
る。実際、高齢者の5割以上が
ビタミンD欠乏状態にあるとさ
れている。

ビタミンD欠乏は
あらゆる病気の危険因子

卑近な例を挙げれば、ビタミ
ンD欠乏は骨粗鬆症を悪化させ、
筋組織を破壊し筋肉量を低下さ
せるため筋力を保てなくなる。
この筋力低下はビタミンD欠乏
が解消すると改善するため、ビ
タミンD反応性ミオパチーと呼
ばれるが、筋力が衰える高齢者

で顕著に現れ、容易に転倒、骨
折し、誰もが恐れる寝たきりの
リスクを高めるのである。
さてビタミンDにはカルシウ
ム代謝調節作用と細胞分化誘導
作用の二大作用がある。ビタミ
ンDが欠乏するとカルシウムの
吸収を阻害し排泄を促すため、
骨からのカルシウムの溶出を
促して骨粗鬆症を悪化させ、細
胞内カルシウム濃度を上昇さ
せ細胞内外の濃度差を保てなく
す。また細胞分化の受け皿にな
るビタミンD受容体は、小腸粘
膜上皮細胞、副甲状腺主細胞、
造骨細胞、腎臓の遠位尿細管細
胞のようにカルシウム代謝を調
節する器官だけでなく、臍臍、
下垂体、甲状腺、皮膚、胃、肝
臓、胸腺、脳、骨髄、胎盤、悪
性腫瘍細胞にあり、細胞分化を
誘導する。すなわちビタミンD
が充足されないと、骨粗鬆症、
動脈硬化、高血圧、糖尿病、感
染症、免疫異常、悪性腫瘍等々

日光との共生

高齢化時代を迎える、健康寿命
(五ページに続く)

(四ページより続く)

を保つて限界寿命を生きる方策がさまざまな立場で論じられており、医学もまた老化を防止する方策を医学的に解明するとしている。しかし高齢者のQOL(生活の質)を阻害する足腰の衰えを医学が防げないことから自明であるが、医学は病気の治療が中心であって、そのまま健常高齢者に適応できるものでない。換言すれば健康寿命は与えられるものでなく、各人が考え実行することから始めなければならない。

光線医学の立場で言えば、日光の大恩を信じ、日光と共生する生活をすることで生命の神秘的能力を最大限に引き出すことである。サナモア光線療法は日光の恵みを再現する治療法として、健康・長寿の願いを叶える手助けをすることを述べ結びとする。

一般演題

卵巣腫瘍の治療経験



社団法人 神奈川県療術師会

海渡一二三

目的

卵巣腫瘍と診断された患者に、

病院の治療に併用する確約を得た上で、毎日継続してサナモア

光線療法で治療した治療経験を報告する。

症例

【患者】 61歳 女性 主婦。

【主訴】 腹痛、腹部膨満感。

【起始経過】 腹痛で病院を受

診。婦人科で左卵巣に握りこぶし大の卵巣腫瘍があり、右卵巣

い四台の治療器で多灯照射をし

療法ならびに経過

【既往歴】 特記すべきことなし。

食欲不振、下腹部の膨満感を訴えていた。

【初診時所見】 患者はお腹が痛いと手で押さえながら来所した。顔色は青白く、時折咳込み、

和らげ手術を受けられる状態にしたいと思い治療することにした。

【治療】 光線療法は時間を使しません。たが、腹痛は快方に向かい、1

月29日に患者がお腹の皮がむけたと言つて腹部を見たら、真っ白にべろっとむけていた。しか

し痛みやかゆみはなく、症状が

改善したので病院で検査するよ

うに勧めたが、腹水が取れて手

術が出来ると判断され、2月10

日に8時間に及ぶ大手術を受け、

主病巣は摘出された。

手術後に抗癌剤の副作用で薬

疹が出たため抗癌剤は中止、患

者は病院から演者の治療院に通

院し薬疹は改善した。退院後も

病院に通院しながら当院の治療

を継続したが、医師から同年11

月16日に経過はすこぶる良好と

告げられたため、同年12月に当

院での治療を中断し、以後、自

宅で光線療法を継続することと

なお当院の治療に併せて自宅で

も光線療法をするように勧め、

両膝に左右から30分照射した。

なお当院の治療に併せて自宅で

も光線療法をするように勧め、

両膝に左右から30分照射した。

た。一回の治療で約4時間照射

したが、まず側臥位で下腹部に

一時間、残りの三台で後頭部、

膝裏、足裏を30分照射してから、

背部、臀部、膝に30分照射した。

結語

演者は悪性腫瘍患者の求めで

光線療法を行う際、医師の管理下の補助療法として、時間を使

します長時間の多灯照射で行つ

ているが、症状の改善を期待す

ると共に、生命体に備わった防

衛的な反応を向上させる治療法

として相乗効果が期待できると

考えているからである。実際、

QOLの改善、良好な術後経過など予想を超える効果を経験し

ていている。

治 験 例 報 告

慢性腎炎に対するサナモアの効果

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL 078-331-358

症例	45歳 男性 会社員
症状	三年前に会社の健診にて慢性腎炎と診断され、以降、食事療法を中心とした生活指導と薬物療法にて経過観察となる。

医師からは、完治が難しい病気なので、これ以上悪くならないように注意することが重要と説明されていましたが、二年後に扁桃腺炎がこれ長引いたことをきっかけとして、再度、タンパク尿と血尿の悪化をきたす。しばらく通院加療しタンパク尿は改善傾向となつたが、血尿が持続したため、サナモア愛用者の兄の勧めで来所した。

治療法 療法は、初めBDカーボンで腰部を30分、腹部を20分照射。次にABカーボンとし、足裏20分、膝10分、ふくらはぎ10分、喉頭20分、後頭部10分の照射を施行した。翌日から、自

症例	45歳 男性 会社員
症状	三年前に会社の健診にて慢性腎炎と診断され、以降、食事療法を中心とした生活指導と薬物療法にて経過観察となる。

宅での光線治療を開始。同様の方法で行い、時間に余裕がある時には、一日に二回以上照射することを指示した。二ヶ月後の検査では、尿タンパクをわずかに認めるも、経過は良好とのことで、三ヶ月後には、以前より腎機能は回復傾向にあると説明を受けた。その後もサナモアを続けたところ、六ヶ月後には、腎機能が安定しているという理

由から、診察は三ヶ月に一度でよいこととなる。サナモアを始めてから、寝つきもよく、睡眠も十分にとれ、体調も良くなり、サナモアに感謝しながら毎日治療を続けている。

一言 今から六十七年前、当時、死因の一位が結核で、二位は腎臓病と言われていましたが、家族の一人が腎臓病を患い、複数の病院でお手上げの状態でした。この時、サナモア愛用者から光線療法を勧められて試してみると、著効を示し治癒に至つたことが、ウエノ光線療研の原点であることを懐かしく思い出しました。

治 験 例 報 告

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 092-581-1039

慢性関節リウマチをサナモアで治療

症例 45歳 女性 サナモア愛用者。最近、起床時の手のこわばりや手首等の関節痛を自覚するようになつ

療法 療法は、初めBDカーボンで腰部を30分、腹部を20分照射。次にABカーボンとし、足裏20分、膝10分、ふくらはぎ10分、喉頭20分、後頭部10分の照射を施行した。翌日から、自

由から、診察は三ヶ月に一度でよいこととなる。サナモアを始めてから、寝つきもよく、睡眠も十分にとれ、体調も良くなり、サナモアに感謝しながら毎日が明るく過ごせるようになつたと大変喜ばれている。

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモア A(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので、ご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株東京光線療法研究所

S状結腸癌の

サナモア光線治療経験

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 044-731-15067

症例 61歳 女性 主婦
 症状 血便を認めたため、痔か
 らの出血を疑い病院で検査を受けたところ、S状結腸癌約6cmと診断。本年1月に手術を施行し、術後の経過は良好であるが、患者は、癌と診断されてから当院を受診し、手術前の昨年12月から術後にかけてサナモア光線療法を続けている。

治 驗 例 報 告

サナモアでぶどう膜炎を治療
埼玉県朝霞市 あさか治療院

麻生 律子氏報告

TEL 048-444-4781

療法経過 初診時、患者は体格が良いように見えたが、むくみも認められた。はじめに、癌の治療は長期におよびること、治療時間は一回に四時間必要であることを説明した。治療にはBDカーボンを使用。四台の光線治療器を用いて、連日の全身照射を開始した。最初は右側臥位に

症例 44歳 女性

症状 六年前にぶどう膜炎と診断され、一年間通院し軽快したが、九か月前に再発。投薬および点眼治療などを再開したが、一向に改善しないため、友人の

から15分ずつ照射した。治療を開始してすぐ、むくみが軽減したところ、眼部の注射とステロイドの点眼が不要と言われ、現サナモアの効果を確信したうえで、治療を継続することができた。術前から術後にかけ、光線療法を行うことで、患者の全身状態を良好に保てたことに、改めてサナモア光線療法の効果を感じたが、今後も、医師をサポートする立場で、癌患者の治療に貢献していく所存である。

全自動光線治療器
はづらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む

光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そ

のため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射に絶対に使用しないで下さい。

*

なおはづらつさんご使用の

際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは

自動光線治療器ははづらつさん

たが、サナモア光線療法が著効を示し、視力を回復した。ぶどう膜炎は再発を繰り返し、その度に視力を低下させる病気であることから、これからも継続的に治療が必要と考えている。

の治療終了後に、病院を受診したところ、眼部の注射とステロイドの点眼が不要と言われ、現在では、右目はほぼ完全に治り、左目も自動車の運転が可能な程度にまで改善している。

考案 初診時には、ぶどう膜炎から硝子体の濁りを生じ、

物がかすんで見える状態であったが、サナモア光線療法が著効を示し、視力を回復した。ぶどう膜炎は再発を繰り返し、その度に視力を低下させる病気であることから、これからも継続的に治療が必要と考えている。

たが、サナモア光線療法が著効を示し、視力を回復した。ぶどう膜炎は再発を繰り返し、その度に視力を低下させる病気であることから、これからも継続的に治療が必要と考えている。

モアを続けていきたいと思つています。

夫婦でサナモアを愛用しています

弘前市 木村 修三様



サナモアで流感にも
かからず過ごしています

神戸市 松本 英美子様

毎日の日課として、サナモア光線療法を一時間半ほど全身に照射しておりますおかげで、流感にも感染することなく、元気

に過ごしております。本当に助

かっています。三年前、娘が子宮内膜症にかかった時も、お薬

を一切服用しないで、サナモア

だけで完治することができます。これからも、末永く、サナ

数か月前から、両方の親指のつけ根などの関節が痛み、家事

手指の関節の痛みに
サナモアを使っています

室蘭市 寺島 世津様

毎日の日課として、サナモア光線療法を使い続けたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものはありません。については体験記をお送りくださいますよう、お願いいたします。

なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

(本紙の無断転用を禁止します。)

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18
サナモア光線協会TEL(03)3793-1528
三七一ニ一五三二二

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

医学博士 宇都宮 光明

毎日夫婦でサナモアを使っています。私は、リウマチで痛む指、手首、膝などの関節に当てていますが、サナモアを照射する、不思議と痛みは和らいでいます。妻も皮膚の湿疹に使っており、良くなっているようです。

これからも、年季の入ったサナモアハ号器を使い続けたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

日中はあれこれと忙しいので、夜落ち着いた時に、手と肩と足裏など、全体で一時間位照射しています。もう少しで、更に良くなりそうに思いますのでまたお知らせします。

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、
一、季刊紙、「健康と光線」の発行
二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。



Sana Moa

サナモア光線協会

趣意書